「おくのキャンパス」⇒ "おくの義務教育学校の取組み"

37

南校舎:5~9年生【50分授業 教科制】(旧牛久2中) 北校舎:1~4年生【45分授業 担任制】(旧奥野小)

No. *** 2稿 2020.6.30「おくの義務教育学校」、初稿 2017.6.20「おくのキャンパス」 本校での先行実践(モデル)の成果は市内各校に展開 牛久市は令和2年3月末、奥野小と牛久二中を廃止し、両校を4月1日[義務教育学校(1~9年生)]に統合 1 本校は 少人数による基礎学力向上を土台に、地域を活かした環境・郷土教育と国際教育を市内に先駆け取り組んでいる 2 3 小規模特認校であり ① 環境・理解教育(SDGs取組) -→地域及び専門家(NPOアサザ基金、地区社協、国際交流協会、-橋大学等)と連携した学習 4 ② 国際教育-→ALT2人& (中学) 英語教師にて"おくのキャンパス(保育園~義務教育学校)"の外国語【英語】教育 コミュニティ・スクール 5 ③ 基礎学力の向上 --→主体的・対話的で深い学び (アクティブラーニング) に市内同様早くから取組む 実施事項・予定事項 註1) A L T (Assistant Language Teacher) 指導助手 月: [教師研修] 、 木:「クラブ活動 7 前期課程 8 イングリッシュ 5,6年:朝 1~4年:帰宅前~4年:帰宅前 5,6年:朝 1~4年:帰宅前 毎回15分: ALT2人+ボランティア+担任+英語教師 9 英語のみでコミュニケーション:参加自由 5·6年: 週2(AM)、3·4年: 週1(PM) ・タイム 10 毎週1校時:1~4年(北)は45分、5.6年(南)は50分 英語教諭2、ALT2、担任、ボランティア 11 常設 昼休み15分(13:20~13:35) ホームステイ受入: H29.10.6~13 オーストラリア6名 |イングリッシュ・ルーム 12 R2~ オーストラリア. カレア小、イント・ネシア SDN Bendungon Hilish校 海外とネット交流 ユネスコ:令和元年度はリトアニア クライペタ サイモンダッハ校とアートマイル制作 13 放課後児童クラブ 18or19時 18or19時 18or19時 平日: 放課後に子育て世代の支援 14 放課後カッパ塾 16~17:30 4~6学年希望者:宿題や家庭学習および学習習慣の形成支援 16~17:30 15 6年9:15-10限9:30-10:30 ②限10:45-11:45-12 土曜カッパ塾 英語:外国人、国語:元教師、ダンス:プロ+サポート:ボランティア SOKAプロジェクト主催:親子向け文化(折り紙、茶道、料理等)、自然探検、理科教室(企業) 16 日曜カッパ塾 17 月 火 目標:英検合格者数 18 英語:少人数指導 クラス2分割:英語教師とALTのペアで指導、組合わせは交代 50分 50分 50分 50分 50分 英国1泊2日学習 ブリティッシュヒルズ(福島県) 19 パスポートのいらない英国(入国即英語生活) 20 ブリティッシュヒルズ・ルーム常設 同上研修ルーム 体験学習の写真他を展示教室(振返り、啓蒙) 21 生徒のアシスタント体験 よる児童英語の時間 22 主体となる体験 児童に読聞かせ 23 郷土学習「歩く会」 奥野地区を1年間に1ルート、地区&社協協力員と共に歩く 地区の史跡を巡り:文化を知る学習(区民会館):3年間で3カ所 24 地区の各集落を訪ね生活の問題点を知り解決法を提案する 古民家利用 同上フイルドワーク 個々の「生きる力」を養う 25 吹奏楽合同演奏 <u> 奥野ウインドベルズ(OB)とのコラボ</u> 校内および各地のイベントに出張演奏 26 行政区生徒会活動 地区生徒による地区ボランティア 活動内容:事前に行政区長と打合わせて決める(大人との対話) 27 希望者:後期課程:教師による学力向上 15~1530 16~18 16~18 放課後学習 1530~17 放課後カッパ塾 希望者:宿題や家庭学習および学習習慣の形成支援 16~18 16~18 1~9学年活動の充実 土・日曜カッパ塾は平成29(2017)年度から地区コーディネーターの運営 29 註2) No.13, 14, 28は教育企画課運営, 30 企画会 9年間の学びを企画し支える月例会 校長、教頭、教務、担当教諭による編成(週1定例会) 31 校内職員研修 おくのキャンパスの目標実現を目指す情報交換と分科会 分科会:英語、ESD、学力向上、豊かな心、健やかな身体、学校事務 32 奥野地区体育祭 本校の児童・生徒は午前中(授業の一環) 例年は午前任意参加、午後は3世代交流 R2 I コロナ禍で中止 33 おくのふれあいまつり 地域主催:保育園児・義務教育学校児童・生徒と地域住民 奥野地区全ての住民にご案内 令和2年度は×月×日 ボランティアの精神を学ぶ地区清掃(区長と事前打合わせ) 年1回(体育祭前)居住する行政区の地区清掃活動 ※令和2年中止 35 夢と自信をもち、おくのを支え、未來にはばたく子どもの育成 36 平成28 (2016) 年度試行、29 (2017) 年度本指定:校区を旧奥野小&二中校区から牛久市全体の希望者に拡大

「おくの義務教育学校」は、奥野12行政区の中心的存在であり、おくの地区社会福祉協議会と連携してコミュニティスクールを構築